

1 基本項目	事務事業名	新川学びの森天神山交流館運営事業			担当部署	課名	生涯学習・スポーツ課	
	予算事業名	1. 交流館運営費				係名	生涯学習・文化係	
	事務区分	自治事務				電話番号	0765-23-1045	
	事業期間	開始年度	平成14年	終了年度		当面継続	会計	一般会計
	総合計画	目標名	基本目標4 人と文化を育むまち			款	教育費	
	政策名	10 明日を担う人づくり				項	社会教育費	
	施策名	31 生涯学習の推進				目	学びの森天神山交流館費	
基本事業名	31-1 学び続ける環境づくり			アウトソーシング導入状況	導入済（指定管理者制度）			
根拠法令				総合計画等への記載	総合計画に主要事業として記載			

2 事業概要	事業概要	(一財) 魚津市施設管理公社を指定管理者とし、施設利用者が快適かつ安全に使用できるよう管理運営を委託。また、学びの森音楽祭の開催や自主事業を行うことにより、魚津市が掲げる音楽のまちづくりの推進と生涯学習の場を広く市民に提供する。
	対象	施設、施設利用者、市民、各種団体等
	手段(活動指標)	(一財) 魚津市施設管理公社を指定管理者とし管理運営を委託。指定管理者において、施設の維持管理、施設利用料の徴収、施設の利用促進のための企画の実施を行う。さらに学びの森青年会も運営する。
意図(成果指標)	施設利用者（市民・文化団体・アーティスト等）が快適かつ安全に利用できる施設を維持する。生涯学習の場を提供することで、市民の学ぶことへの意欲や教養を高める。	

3 指標	指標名	単位	26年度		27年度			28年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
活動指標 成果指標	① 施設経費	円	61,241,000	61,902,835	49,225,000	49,170,000	99.9%	49,430,000
	② 自主事業実施回数	回	160	143	165	154	93.3%	165
	③							
	① 利用件数	件	7,500	6,559	7,600	6,598	86.8%	7,600
	② 利用者数	人	58,000	50,853	58,000	48,595	83.8%	58,000
	③ 施設利用収入	千円	11,500	11,602	11,931	11,156	93.5%	11,500

4 コスト情報	区分	単位	26年度		27年度			28年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出内訳	① 需用費	円	3,072,600	3,072,600	1,546,000	1,491,480	-51.5%	500,000
	② 委託料	円	56,075,560	56,075,560	47,595,000	47,595,000	-15.1%	47,300,000
	③ 工事請負費	円						
	④ 負担金補助及び交付金	円						
	⑤ その他	円	30,000	30,000	84,000	84,000	180.0%	1,630,000
	支出合計(A)	円	59,178,160	59,178,160	49,225,000	49,170,480	-16.9%	49,430,000
財源内訳	① 国庫支出金	円	3,143,000	2,880,000				
	② 県支出金	円						
	③ 地方債	円						
	④ その他(使用料、雑入等)	円	428,000	1,495,502	2,421,000	2,362,851	58.0%	495,000
	⑤ 一般財源	円	55,607,160	54,802,658	46,804,000	46,807,629	-14.6%	48,935,000
	収入合計	円	59,178,160	59,178,160	49,225,000	49,170,480	-16.9%	49,430,000
人件費	① 事務事業に携わる正規職員数	人	1	1	2	2	100.0%	2
	② 年間所要時間	時間	240	400	700	600	50.0%	600
	③ 人件費(②×@ 4,200円)(B)	円	1,008,000	1,680,000	2,940,000	2,520,000	50.0%	2,520,000
	総費用(A+B)	円	60,186,160	60,858,160	52,165,000	51,690,480	-15.1%	51,950,000

5 取組内容	平成27年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	<p>○基本協定書・年度協定書に基づき指定管理料を支払った。指定管理者が施設の維持管理、利用料金徴収業務、自主企画事業等を実施した。</p> <p>○平成28年度から5年間の指定管理者の募集を行い、現在の指定管理者である一般財団法人魚津市施設管理公社に債務負担行為限度額241,500千円のところ241,000千円で5年間の指定管理を依頼した。</p>	

6 評価	評価の視点	H26評価	H27評価	評価項目	評価結果	評価の理由	
						1次評価	2次評価
妥当性	妥当性	C	C	自治体関与の妥当性	2 検討の余地あり	市内には、新川文化ホールをはじめ、民間にも同様の機能を持つ施設がある。	
				目的の妥当性	1 妥当である		生涯学習を推進するための事業としては妥当である。
				対象の妥当性	1 妥当である		施設の利用対象は、若者から高齢者までを対象としている。
有効性	有効性	B	B	目標達成度	2 目標どおり	年によって多少増減があるが、利用件数・利用人数は概ね維持している。	
				類似事業の有無	2 検討の余地あり	類似の事業として、新川文化ホール管理事業がある。	
				上位施策への貢献度	2 普通	貢献度は高いが、施設利用者に偏りがあることから工夫が必要。	
効率性	効率性	B	B	コスト効率	2 普通	平日に空き室が多いが、各種プランの設定など、利用促進に向けた努力がされている。	
				実施主体の適正化	1 適正である	指定管理者制度を実施しており、適正に実施されている。	
				負担割合の適正化	2 改善の余地あり	利用料金を見直す必要がある。	
	1次評価(課長総括)	B	B	管理運営の進め方・内容について改善の余地あり	2次評価	不要	
	後の評価結果(課題及び今後の方針)	既存の利用者に対する利便性の向上に努めるほか、指定管理者による自主事業の充実や多様な団体等への利用の働きかけにより利用者の拡大を図る必要がある。				評価結果	

1 基本項目	事務事業名	青年活動パワーアップ事業			担当 部署	課名	生涯学習・スポーツ課	
	予算事業名	青年活動パワーアップ事業				係名	生涯学習・文化係	
	事務区分	自治事務				電話番号	0765-23-1045	
	事業期間	開始年度	平成23年度	終了年度		当面継続	会計	一般会計
	総合計画 目標名	基本目標 4 人と文化を育むまち				科目	教育費	
	政策名	10 明日を担う人づくり				項目	社会教育費	
	施策名	31 生涯学習の推進				目	社会教育総務費	
基本事業名	31-1 学び続ける環境づくり			アウトソーシング導入状況	導入予定なし			
根拠法令				総合計画等への記載	総合計画に主要事業として記載			

2 事業概要	事業概要	新川学びの森天神山交流館で青年向けに3つの教室（抹茶・料理・着物着付け）と1つのサークル（ストリートダンス）を実施している。 また、市内若者による魚津市の活性化を目的とした事業を団体（うおづ屋）へ委託している。
	対象	市内在住または市内へ通勤している青年（主に18歳～35歳）
	手段 (活動指標)	青年教室の実施。青年団体によるイベントの実施・参加を通して交流する。
意図 (成果指標)	青年教室に参加することにより、余暇を有効に活用することができる。また、イベントを企画・運営することにより、青年同士の交流が深まり、若者が元気になり、魚津市が活性化する。	

3 指標	指標名	単位	26年度		27年度			28年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
活動指標 成果指標	① 青年教室・サークル数	箇所	4	4	3	3	100.0%	3
	② パワーアップ塾（うおづ屋）事業数	回	2	2	1	1	100.0%	1
	③							
	① 学びの森青年会登録者数	人	100	34	100	30	30.0%	50
	② うおづ屋の交流団体数	回	5	3	-	-		-
	③							

4 コスト情報	区分	単位	26年度		27年度			28年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出内訳	①需用費	円	90,000	83,828	90,000	47,368	-43.5%	60,000
	②委託料	円	500,000	500,000	500,000	250,000	-50.0%	250,000
	③工事請負費	円						
	④負担金補助及び交付金	円						
	⑤その他	円	721,000	462,639	721,000	328,855	-28.9%	529,000
	支出合計（A）	円	1,311,000	1,046,467	1,311,000	626,223	-40.2%	839,000
財源内訳	①国庫支出金	円						
	②県支出金	円						
	③地方債	円						
	④その他（使用料、雑入等）	円						
	⑤一般財源	円	1,311,000	1,046,467	1,311,000	626,223	-40.2%	839,000
	収入合計	円	1,311,000	1,046,467	1,311,000	626,223	-40.2%	839,000
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	1	1	1	2	100.0%	2
	②年間所要時間	時間	400	400	200	240	-40.0%	240
	③人件費（②×@ 4,200円）（B）	円	1,680,000	1,680,000	840,000	1,008,000	-40.0%	1,008,000
	総費用（A+B）	円	2,991,000	2,726,467	2,151,000	1,634,223	-40.1%	1,847,000

5 取組内容	平成27年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	<p>○青年教室での練習の成果を披露するため、生涯学習フェスティバルに参加した。【開催日】3月13日【場所】学びの森交流館                  ○うおづ屋主催事業：魚津の若者を紹介する青年取材誌「YOU～vol.2～」を発刊し、全戸配布した。脚光の浴びにくい一般青年の活動を広く市民に知ってもらうことを目的に年1回発行することを目標にしている。</p>	

6 評価	評価の視点	H26評価	H27評価	評価項目	評価結果	評価の理由
	妥当性	妥当性	A	B	自治体関与の妥当性	1 妥当である
目的の妥当性					2 検討の余地あり	青年教室は、青年層のみを対象とした教室であるが、青年層のみに対象を絞る時代ではないのでは。
対象の妥当性					1 妥当である	青年活動の活性化としては、妥当な事業である。
有効性	有効性	B	B	目標達成度	3 低い・未実施	学びの森青年会に登録する人数が、激減している。
				類似事業の有無	2 検討の余地あり	青年層を対象とした委託事業は、他にはないが、生涯学習教室のような市民一般を対象とした教室はある。
				上位施策への貢献度	2 普通	青年層に対する学び続ける環境づくりとしては、必要な事業である。
効率性	効率性	B	C	コスト効率	2 普通	必要最小限の予算で行っている。
				実施主体の適正化	2 改善の余地あり	一部は、指定管理者に事業委託しており、指定管理者制度の中に含めることを検討している。
				負担割合の適正化	2 改善の余地あり	生涯学習教室は、受講料を徴収しており、受講料を徴収することも考えていく必要がある。
	1次評価 (課長総括)	B	B	事業の進め方・内容について改善の余地あり	2次評価	不要
	後(課題及び今後の方針)の評価結果	地域における青年活動が停滞する中、次代を担う青年が自らの意欲と情熱を高め、まちづくりや夢を実現するための企画・立案をする力や行動力を培う機会を提供していく。			評価結果	

1 基本項目	事務事業名	生涯学習振興事業			担当部署	課名	生涯学習・スポーツ課	
	予算事業名	生涯学習振興事業				係名	生涯学習・文化係	
	事務区分	自治事務				電話番号	0765-23-1045	
	事業期間	開始年度	昭和45年度	終了年度		当面継続	予会計	一般会計
	総合計画	目標名	基本目標4 人と文化を育むまち			款	教育費	
	画	政策名	10 明日を担う人づくり			項	社会教育費	
	根	施策名	31 生涯学習の推進			目	社会教育総務費	
拠	基本事業名	31-1 学び続ける環境づくり			アウトソーシング導入状況	導入予定なし		
法	令				総合計画等への記載	総合計画に主要事業として記載		

2 事業概要	事業概要	市の社会教育全般について助言や意見を受けるため、社会教育委員を設置する。社会教育委員は、東海北陸社会教育研究大会などへの参加を通じて社会教育の現状や動向について研修し、時代にあった社会教育事業の実施につなげていく。
	対象	社会教育委員
	手段(活動指標)	社会教育委員会議の開催及び社会教育研究大会（東海北陸ブロック）への参加
意(成果指標)	社会教育委員からの事業への意見や提言を受け、事業に反映させていく	

3 指標	指標名	単位	26年度		27年度			28年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
活動指標	① 社会教育委員研修回数	回	3	2	3	3	100.0%	3
	②							
	③							
成果指標	① 社会教育委員からの提言数(会議開催数)	件	2	1	2	1	50.0%	1
	②							
	③							

4 コスト情報	区分	単位	26年度		27年度			28年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出内訳	①需用費	円	428,000	289,877	402,000	252,476	-12.9%	381,000
	②委託料	円						
	③工事請負費	円						
	④負担金補助及び交付金	円	30,000	18,000	6,000	6,000	-66.7%	263,000
	⑤その他	円	180,000	91,600	217,000	122,960	34.2%	1,767,000
	支出合計(A)	円	638,000	399,477	625,000	381,436	-4.5%	2,411,000
財源内訳	①国庫支出金	円						
	②県支出金	円						
	③地方債	円						
	④その他(使用料、雑入等)	円						7,000
	⑤一般財源	円	638,000	399,477	625,000	381,436	-4.5%	2,404,000
	収入合計	円	638,000	399,477	625,000	381,436	-4.5%	2,411,000
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	1	1	2	2	100.0%	2
	②年間所要時間	時間	400	300	300	300	0.0%	300
	③人件費(②×@ 4,200円)(B)	円	1,680,000	1,260,000	1,260,000	1,260,000	0.0%	1,260,000
	総費用(A+B)	円	2,318,000	1,659,477	1,885,000	1,641,436	-1.1%	3,671,000

5 取組内容	平成27年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	<p>○平成27年6月9日に社会教育委員会議を開催し、平成27年度の重点事業について事務局より説明の後、委員から事業への意見や提言を受けた。その後、希望者は、リニューアルした埋没林博物館を視察した。</p> <p>○平成27年10月22日(木)～23日(金)に開催された第46回東海北陸社会教育研究大会愛知大会に社会教育委員1名と事務局1名が参加し、社会教育の現状や動向について学ぶとともに、情報交換などを通して研修を深めた。</p> <p>○平成27年11月14日に第44回富山県社会教育大会が八尾コミュニティセンターで開催され、社会教育委員4名と事務局1名が参加し、他市の取り組み内容などを学んだ。</p>	

6 評価	評価の視点	H26評価	H27評価	評価項目	評価結果	評価の理由
	妥当性	A	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である	社会教育全般についての助言や意見を受ける社会教育委員設置に伴う事業なので
目的の妥当性				1 妥当である	生涯学習の推進のためには、事業を評価・検証することが必要である。	
対象の妥当性				1 妥当である	主に社会教育委員を対象とした事業なので	
有効性	B	B	目標達成度	3 低い・未実施	年に1回限りの委員会の開催では、委員の提言を受けるだけで、事業に反映させることは困難である。	
			類似事業の有無	1 なし	他の部局で同じような事務事業はない。	
			上位施策への貢献度	2 普通	年1回の会議では、上位施策に貢献しているとは言い難い。	
効率性	A	A	コスト効率	1 高い	人件費を除くと必要最小限の予算なので。	
			実施主体の適正化	1 適正である	市が主体となって行う事業なので。	
			負担割合の適正化	1 適正である	委員の方にも研修を受けていただきながら、委員会から提言を受ける事業委なので。	
	1次評価(課長総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適当	2次評価	不要
	後(課題及び今後の方針)の評価結果	社会教育委員に行政外の立場から幅広い助言や意見をいただき、反映していくことは重要であり、市民ニーズにあった社会教育事業の推進を図っていく。			評価結果	

1 基本項目	事務事業名	生涯学習教室等事業			担当部署	課名	生涯学習・スポーツ課	
	予算事業名	生涯学習教室等事業				係名	生涯学習・文化係	
	事務区分	自治事務				電話番号	0765-23-1045	
	事業期間	開始年度	昭和50年度	終了年度		当面継続	会計	一般会計
	総合計画	目標名	基本目標4 人と文化を育むまち			款	教育費	
	画	政策名	10 明日を担う人づくり			項	社会教育費	
	根拠法令	施策名	31 生涯学習の推進			目	社会教育総務費	
	基本事業名	31-1 学び続ける環境づくり			アウトソーシング導入状況	導入予定なし		
					総合計画等への記載	総合計画に主要事業として記載		

2 事業概要	事業概要	学び続けるきっかけづくりとして、初心者を対象とした生涯学習教室を開催する。また、成果を発表する生涯学習フェスティバルを開催する。 市民の教養を高めることを目的に、市民教養講座ハートフルセミナーを開催する。
	対象	市民
	手段(活動指標)	習い事などの生涯学習活動を始めたい人のニーズに沿った講座を設ける。
	意(成果指標)	講座受講をきっかけに、生涯学習に取り組む人が増える。

3 指標	指標名	単位	26年度		27年度			28年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
活動指標 成果指標	① 開催教室数	教室	12	11	12	11	91.7%	12
	② ハートフルセミナー	回	2	2	2	2	100.0%	2
	③ 生涯学習フェスティバル	回	1	1	1	1	100.0%	1
	① 受講者数	人	200	97	200	112	56.0%	150
	② ハートフルセミナー参加者数	人	50	104	100	79	79.0%	100
	③							

4 コスト情報	区分	単位	26年度		27年度			28年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出内訳	①需用費	円	187,000	164,663	170,000	166,953	1.4%	170,000
	②委託料	円						
	③工事請負費	円						
	④負担金補助及び交付金	円						
	⑤その他	円	750,000	280,045	700,000	353,396	26.2%	570,000
	支出合計(A)	円	937,000	444,708	870,000	520,349	17.0%	740,000
財源内訳	①国庫支出金	円						
	②県支出金	円						
	③地方債	円						
	④その他(使用料、雑入等)	円	200,000	88,500				200,000
	⑤一般財源	円	737,000	356,208	870,000	520,349	46.1%	540,000
	収入合計	円	937,000	444,708	870,000	520,349	17.0%	740,000
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	2	2	2	2	0.0%	2
	②年間所要時間	時間	400	300	200	300	0.0%	300
	③人件費(②×@ 4,200円)(B)	円	1,680,000	1,260,000	840,000	1,260,000	0.0%	1,260,000
	総費用(A+B)	円	2,617,000	1,704,708	1,710,000	1,780,349	4.4%	2,000,000

5 取組内容	平成27年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	<p>○初心者を対象とした生涯学習教室を11教室開催し、112名が受講した。</p> <p>○生涯学習教室や地区公民館で開催する講座受講生の成果を発表する場として生涯学習フェスティバルを開催した。【開催日】平成28年3月13日【場所】新川学びの森天神山交流館</p> <p>○“ふるさとを学ぶ”魚津を愛する人の輪を広げよう！をテーマに市民教養講座ハートフルセミナーを2回開催した。</p> <p>・魚津の魅力～人・自然・食べ物～【開催日】12月10日【場所】ありそドーム研修室【参加者数】45名</p> <p>・ミュージカル制作の苦労話あれこれ【開催日】1月28日【場所】ありそドーム研修室【参加者数】34名</p>	

6 評価	評価の視点	H26評価	H27評価	評価項目	評価結果	評価の理由	
						1次評価(課長総括)	2次評価
妥当性	妥当性	B	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である	初め者を対象とした生涯学習のきっかけづくりとして行う事業なので。	
				目的の妥当性	1 妥当である		生涯学習に取り組むきっかけづくりとした事業なので。
				対象の妥当性	1 妥当である		市民一般を対象としているので。
有効性	有効性	B	B	目標達成度	3 低い・未実施	生涯学習教室は、最小催行人数を7名としているが、人数が集まらずに取りやめている教室もあるので。	
				類似事業の有無	1 なし	他の部局に類似する事業はない。	
				上位施策への貢献度	2 普通	学び続けるきっかけづくり貢献している。	
効率性	効率性	B	B	コスト効率	2 普通	生涯学習教室は、講師謝礼1回あたり2,500円で教室運営をすべて講師にお願いしている。	
				実施主体の適正化	1 適正である	学び続けるきっかけづくりとして、市が実施している。	
				負担割合の適正化	1 適正である	受講生には、一月あたり500円の受講料をお願いしている。	
	1次評価(課長総括)	B	B	事業の進め方・内容について改善の余地あり	2次評価	不要	
	後の評価結果(課題及び今後の方針)	市が主催する生涯学習教室は、生涯学習のきっかけづくりであることから、さらに、新規受講生が入りやすい環境整備を進める。				評価結果	



1 基本項目	事務事業名	図書館資料収集保存提供事業			担当 部署 課 名 係 名 電話 番号 会 計 款 項 目 算 科 目	図書館	
	予算事業名	資料収集保存事業				図書館係	
	事務区分	自治事務				0765-22-0462	
	事業期間	開始年度	平成10年度	終了年度		当面継続	一般会計
	総合計画	目標名	基本目標 4 人と文化を育むまち			教育費	
	政策名	10 明日を担う人づくり				社会教育費	
	施策名	31 生涯学習の推進				図書館費	
基本事業名	31-1 学び続ける環境づくり			アウトソーシング導入状況	導入予定なし		
根拠法令	図書館法第3条第1項第1号～第4号			総合計画等への記載	総合計画に主要事業として記載		

2 事業概要	事業概要	市民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため、図書、雑誌、新聞、参考図書、視聴覚資料、郷土資料など資料を選び、収集、保存、管理し市民や利用者提供する。
	対象	市民及び図書館利用者
	手段(活動指標)	新刊の図書・雑誌・郷土資料等を購入するとともに、リサイクル資料の積極的な受入や相互貸借等により、より多くの資料を提供する。
	意図(成果指標)	市民の図書館の利用及び本への親しみが增加する。

3 指標	指標名	単位	26年度		27年度			28年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
活動指標 成果指標	① 市民	人	44,490	43,555	44,178	43,152	97.7%	43,865
	② 図書館利用登録者数	人	23,500	24,258	25,000	25,384	101.5%	26,000
	③ 蔵書数	冊	250,000	252,522	255,000	260,082	102.0%	265,000
	① 入館者数	人	245,000	217,549	225,000	213,923	95.1%	225,000
	② 貸出冊数(個人)	冊	340,000	310,767	325,000	298,269	91.8%	300,000
	③ 貸出者数(個人)	人	77,000	72,515	75,000	69,441	92.6%	73,000

4 コスト情報	区分	単位	26年度		27年度			28年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出内訳	① 需用費	円	1,483,000	1,360,797	1,588,000	1,458,341	7.2%	1,606,000
	② 委託料	円	1,019,000	784,637	946,000	742,085	-5.4%	912,000
	③ 工事請負費	円						
	④ 負担金補助及び交付金	円						
	⑤ その他	円	12,191,000	12,190,299	11,977,496	11,976,771	-1.8%	11,941,000
	支出合計(A)	円	14,693,000	14,335,733	14,511,496	14,177,197	-1.1%	14,459,000
財源内訳	① 国庫支出金	円						
	② 県支出金	円						
	③ 地方債	円						
	④ その他(使用料、雑入等)	円	280,000	260,502	120,000	4,483	-98.3%	10,000
	⑤ 一般財源	円	14,413,000	14,075,231	14,401,496	14,172,714	0.7%	14,449,000
	収入合計	円	14,693,000	14,335,733	14,521,496	14,177,197	-1.1%	14,459,000
人件費	① 事務事業に携わる正規職員数	人	5	5	5	5	0.0%	5
	② 年間所要時間	時間	3,800	3,200	2,800	2,800	-12.5%	2,800
	③ 人件費(②×@ 4,200円)(B)	円	15,960,000	13,440,000	11,760,000	11,760,000	-12.5%	11,760,000
	総費用(A+B)	円	30,653,000	27,775,733	26,271,496	25,937,197	-6.6%	26,219,000

5 取組内容	平成27年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	図書、雑誌、新聞、視聴覚資料、郷土資料などの収集、保存、管理を行い、市民や利用者へ提供した。また、資料の照会や本の相談(レファレンス)に対応するとともに、他館との資料の相互貸借を行った。	

6 評価	評価の視点	H26評価	H27評価	評価項目	評価結果	評価の理由
	妥当性	A	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である	図書館法で明記
目的の妥当性				1 妥当である	市民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため	
対象の妥当性				1 妥当である	図書館を利用する人を対象としているため	
有効性	B	B	目標達成度	2 目標どおり	成果値が概ね目標値に近い	
			類似事業の有無	1 なし	他の部局で同じ事業は無い	
			上位施策への貢献度	2 普通	直接的な貢献度は高くないものの図書館の主要な事業であり、図書館法に明記されているため	
効率性	B	B	コスト効率	2 普通	最低限のコストで運営しているため	
			実施主体の適正化	1 適正である	民間委託になじまないため	
			負担割合の適正化	1 適正である	資料は市の財産であるため	
	1次評価(課長総括)	B	B	事業の進め方・内容について改善の余地あり	2次評価	不要
	後(課題及び今後の評価結果)	開館日数が15日増加したにもかかわらず、図書館の利用者減に伴い、貸出冊数も減少している。郷土資料の充実と魚津市立図書館の特徴を生かした資料の収集を行いたい。			評価結果	

1 基本項目	事務事業名	図書館教養・普及事業			担当部署	課名	図書館	
	予算事業名	教養・普及事業				係名	図書係	
	事務区分	自治事務				電話番号	0765-22-0462	
	事業期間	開始年度	平成17年度	終了年度		当面維持	会計	一般会計
	総合計画	目標名	基本目標 4 人と文化を育むまち			款	教育費	
	政策名	10 明日を担う人づくり				項	社会教育費	
	施策名	31 生涯学習の推進				目	図書館費	
基本事業名	31-1 学び続ける環境づくり			アウトソーシング導入状況	導入予定なし			
根拠法令	図書館法第3条第1項第6号			総合計画等への記載	総合計画に主要事業として記載			

2 事業概要	事業概要	図書館教室（古文書解説会・読書会など）や歴史講座・お話し会・お楽しみ会・シネマ倶楽部などの開催
	対象	市民及びその事業に興味を持って参加される市民以外の方
	手段（活動指標）	図書館映画上映事業、歴史講座、おはなし会、子ども向けお楽しみ会、おはなし玉手箱、図書館教室（古文書解説会、草かなで読む読書会、魚津読書会、時事英語を読む会、川柳教室）、おりがみ教室、図書館コンサート
	意図（成果指標）	図書館の資料や設備を利用して、多くの市民が生涯学習の意欲や楽しみを持つことができる。

3 指標	指標名	単位	26年度		27年度			28年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
活動指標 成果指標	① 図書館教室開講数	件	65	63	65	53	81.5%	50
	② おはなし会開催数	件	60	62	60	61	101.7%	60
	③ 各種集会回数	件	40	42	40	26	65.0%	40
	① 図書館教室参加人数	人	750	786	750	550	73.3%	300
	② おはなし会参加人数	人	1,500	1,037	1,500	1,243	82.9%	1,250
	③ 各種集会参加人数	人	1,400	1,437	1,500	1,267	84.5%	1,500

4 コスト情報	区分	単位	26年度		27年度			28年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出内訳	① 需用費	円	205,000	203,324	447,000	415,647	104.4%	143,000
	② 委託料	円						
	③ 工事請負費	円						
	④ 負担金補助及び交付金	円	1,000	1,000	1,000	1,000	0.0%	1,000
	⑤ その他	円	64,000	36,154	67,000	33,054	-8.6%	99,000
	支出合計（A）	円	270,000	240,478	515,000	449,701	87.0%	243,000
財源内訳	① 国庫支出金	円						
	② 県支出金	円						
	③ 地方債	円						
	④ その他（使用料、雑入等）	円	30,000	40,300	330,000	7,040	-82.5%	10,000
	⑤ 一般財源	円	240,000	200,178	205,000	442,661	121.1%	233,000
	収入合計	円	270,000	240,478	535,000	449,701	87.0%	243,000
人件費	① 事務事業に携わる正規職員数	人	5	5	5	5	0.0%	5
	② 年間所要時間	時間	2,500	3,000	3,000	3,000	0.0%	3,000
	③ 人件費（②×@ 4,200円）（B）	円	10,500,000	12,600,000	12,600,000	12,600,000	0.0%	12,600,000
	総費用（A+B）	円	10,770,000	12,840,478	13,115,000	13,049,701	1.6%	12,843,000

5 取組内容	平成27年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	図書館教室（古文書解説会・読書会など）や歴史講座、お話し会、おりがみ教室、お楽しみ会、シネマ倶楽部などを開催した。開館10周年事業に関連した、多彩なイベント（大人のためのおはなし会、図書館写真教室、川柳教室発表会、福引き大会など）を実施した。	

6 評価	評価の視点	H26評価	H27評価	評価項目	評価結果	評価の理由
	妥当性	妥当性	A	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である
目的の妥当性					1 妥当である	市民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため
対象の妥当性					1 妥当である	図書館を利用する人を対象としているため
有効性	有効性	B	B	目標達成度	2 目標どおり	成果値が概ね目標値に近い
				類似事業の有無	1 なし	他の部局で同じ事業は無い
				上位施策への貢献度	2 普通	直接的な貢献度は高くないものの図書館の利用を促進し生涯学習の推進につなげるためには必要な事業であり、図書館法に明記されているため
効率性	効率性	B	B	コスト効率	2 普通	最低限のコストで運用しているため
				実施主体の適正化	1 適正である	市民の教育、学術及び文化の発展に寄与する事業であり、民間委託になじまないため
				負担割合の適正化	1 適正である	事業によっては教材費を徴収しているため
	1次評価（課長総括）	B	B	事業の進め方・内容について改善の余地あり	2次評価	不要
	後（課題及び今後の方針）	蔵書を生かしたイベントを行うことで、書籍の貸し出しを増やしていきたい。			評価結果	